

東北地方 1か月予報

(10月19日から11月18日までの天候見通し)

平成25年10月18日
仙台管区气象台発表

<特に注意を要する事項>

期間のはじめは、気温がかなり高くなる見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

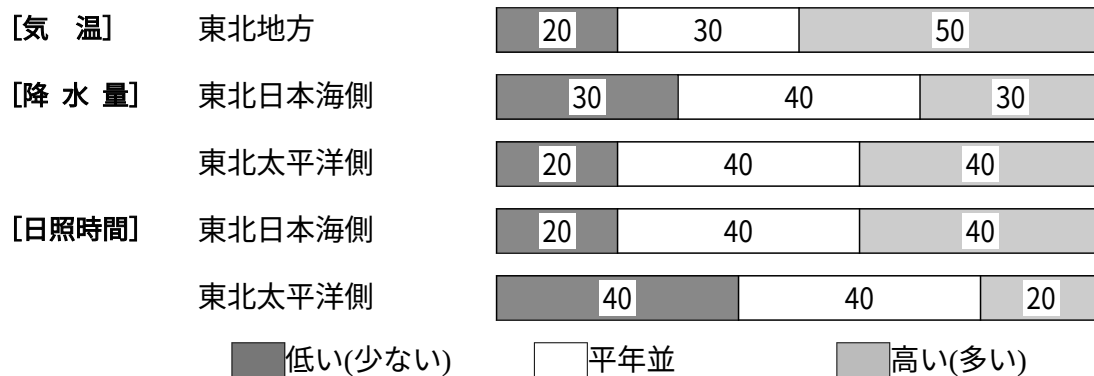
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側では、期間の前半は、平年に比べ曇りや雨の日が少なく、期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。東北太平洋側では、期間のはじめは、平年に比べ晴れの日が少なく、その後は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

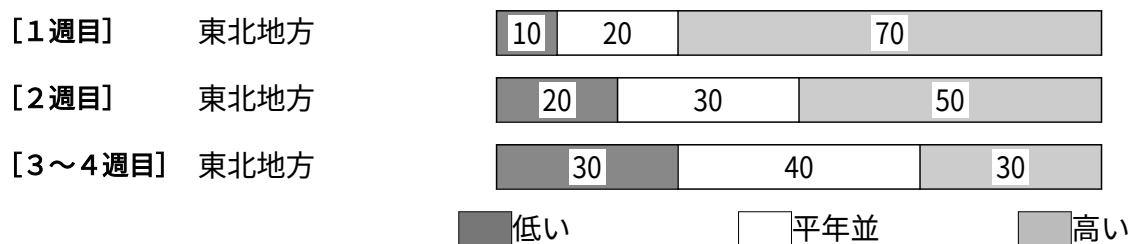
向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、東北日本海側で平年並または多い確率ともに40%、東北太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率70%です。2週目は、高い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 10月19日(土) ~ 11月18日(月)
1週目 : 10月19日(土) ~ 10月25日(金)
2週目 : 10月26日(土) ~ 11月1日(金)
3~4週目 : 11月2日(土) ~ 11月15日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は10月25日

3か月予報：10月24日（木） 14時

<参考資料（平年並の範囲等）>

（１）30年平均値（向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3～4週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(°C)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	9.4	124.7	117.2	11.7	10.4	8.5
深浦	10.2	150.5	94.7	12.2	11.2	9.3
むつ	9.0	105.1	133.2	11.1	10.0	8.1
八戸	9.5	67.3	151.4	11.7	10.5	8.5
秋田	10.4	176.6	112.2	12.7	11.4	9.5
盛岡	8.4	90.5	132.8	10.7	9.3	7.5
大船渡	10.7	105.9	144.4	12.7	11.5	9.8
宮古	10.1	91.3	156.9	12.0	10.9	9.3
仙台	11.8	81.2	152.1	13.9	12.6	10.9
石巻	11.0	82.9	158.0	13.2	11.9	10.1
山形	9.9	84.1	119.0	12.2	10.8	8.9
新庄	8.9	182.3	83.7	11.2	9.9	7.9
酒田	11.7	211.2	112.1	13.9	12.6	10.7
福島	11.6	78.3	139.6	13.8	12.4	10.6
若松	9.6	83.1	106.0	12.0	10.5	8.6
白河	10.1	86.4	149.2	12.2	11.0	9.2
小名浜	13.3	109.9	164.7	15.3	14.1	12.5

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1981～2010年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.1～+0.7	78～112	97～106
東北日本海側	-0.1～+0.7	90～109	97～107
東北太平洋側	-0.1～+0.7	68～116	96～106

（３）この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.6～+0.6	-0.5～+0.7	-0.2～+0.8
東北日本海側	-0.6～+0.7	-0.5～+0.8	-0.2～+0.8
東北太平洋側	-0.6～+0.6	-0.5～+0.8	-0.2～+0.8

<参考資料（利用上の注意）>

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10％以下や60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。

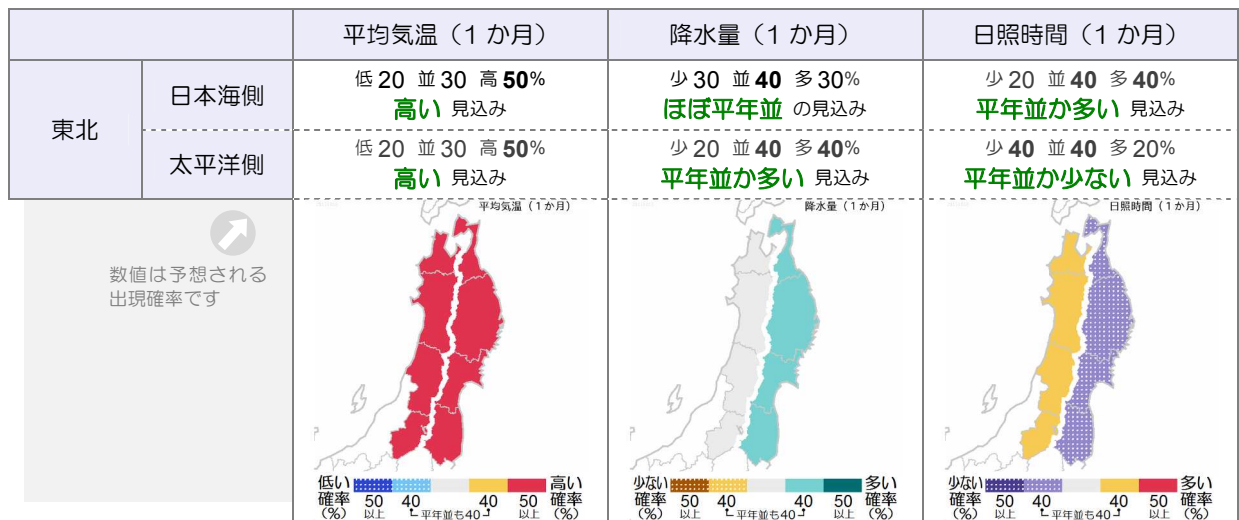
向こう1か月の天候の見通し 東北地方（10月19日～11月18日）

仙台管区气象台

予報のポイント

- 期間の前半は気温が高く、期間のはじめはかなり高くなるでしょう。
- 期間の前半は寒気の影響が弱いため、東北日本海側では、向こう1か月の日照時間は平年並か多い見込みです。
- 期間のはじめは暖かく湿った空気が流れ込みやすいため、東北太平洋側では、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないでしょう。

1か月の平均気温・降水量・日照時間

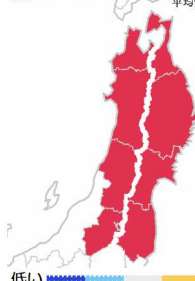
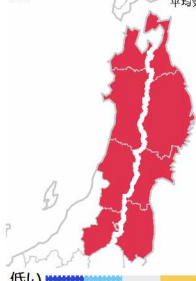


週別の天候

(1 週目) 10/19～25	(2 週目) 10/26～11/1	(3～4 週目) 11/2～15
気圧の谷や湿った気流の影響で、曇りや雨の日が多いでしょう。気温はかなり高くなる見込みです。 ※詳しくは、週間天気予報をご覧ください。	寒気の影響が弱く、東北日本海側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に緩やかに覆われて、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。気温は高いでしょう。	冬型の気圧配置となり、寒気の影響を受ける日があるでしょう。東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「確率予報の解説表」をご覧ください。

週別の平均気温

		平均気温（1 週目） 10/19～25	平均気温（2 週目） 10/26～11/1	平均気温（3～4 週目） 11/2～15
東北	日本海側	低 10 並 20 高 70% 高い 見込み	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	低 30 並 40 高 30% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側	低 10 並 20 高 70% 高い 見込み	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	低 30 並 40 高 30% ほぼ平年並 の見込み
 数値は予想される 出現確率です		平均気温（1 週目） 	平均気温（2 週目） 	平均気温（3～4 週目） 
		低い確率 (%) 50 以上 40 平年並も 40 以上 高い確率 (%) 50 以上	低い確率 (%) 50 以上 40 平年並も 40 以上 高い確率 (%) 50 以上	低い確率 (%) 50 以上 40 平年並も 40 以上 高い確率 (%) 50 以上



ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、
気象庁ホームページ

<http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/tjikeiretu/index.php>
で公開しています。



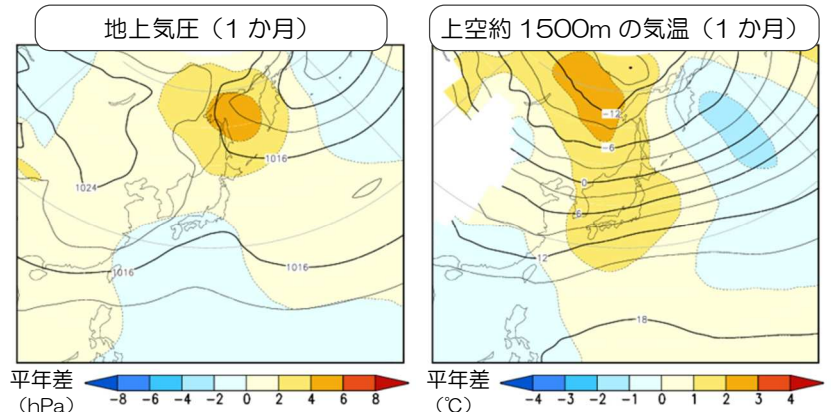
予想の気温は、予報確率から算出した 1 週間、あるいは 2 週間平均気温の平年差を毎日の平年値に加算して求めています。信頼の程度が 40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は 7 日平均気温です。

数値予報モデルによる予測結果

地上気圧は、オホーツク海付近は正偏差となり、冬型の気圧配置は弱いでしょう。日本付近は大陸の高気圧と日本のはるか東の高気圧の間で、関東沖には気圧の谷が見られ、太平洋側に南から暖かく湿った空気が流れ込みやすい見込みです。

上空約 1500m の気温は、日本付近で平年を上回る予想です。

東北日本海側では、期間の前半は寒気の影響が弱く平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。東北太平洋側では、期間のはじめは晴れの日が少ないですが、その後は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

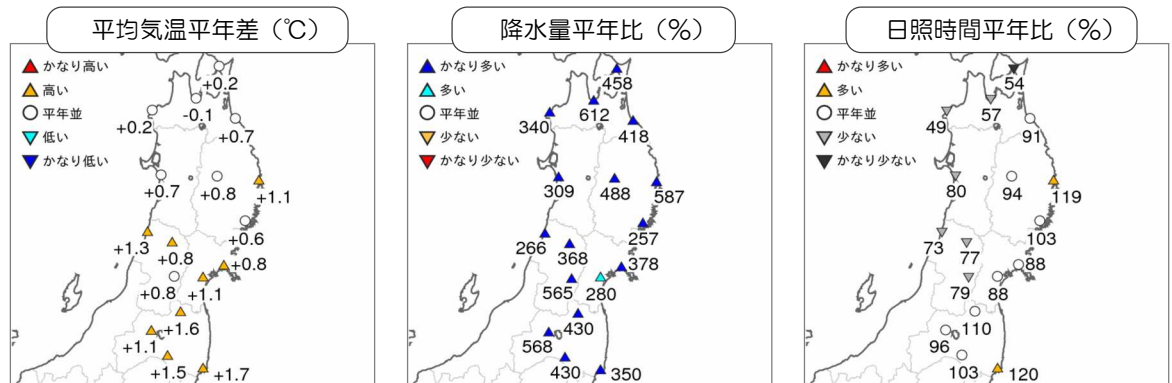


季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上記の図）から大気の状態を判断し、また結果のパラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

最近 1 週間の天候経過（実況） 10/11~17

この期間、台風と気圧の谷の影響を受けたため、曇りや雨の日が多くなりました。南から暖かく湿った空気が流れ込んだため、平均気温は高くなりましたが、期間の終わりは強い寒気の影響を受けました。11日から12日にかけて寒冷前線が東北地方を通過し、その後冬型の気圧配置となったため、東北日本海側を中心に大雨の所がありました。15日から16日にかけて台風第26号が東北地方の東を北上したため各県で大雨となり、16日は東北太平洋側を中心に日降水量が100mmを超えた所がありました。16日に仙台と白河で日最大風速の10月の1位を記録しました。

平均気温は東北部で平年並、東南部で高い。降水量はかなり多い。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。



(実況) 10/11~17	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
東北地方	+0.9℃ (高い)	418% (かなり多い)	87% (少ない)
東北日本海側	+0.7℃ (平年並)	433% (かなり多い)	73% (少ない)
東北太平洋側	+1.0℃ (高い)	408% (かなり多い)	97% (平年並)
東北部	+0.5℃ (平年並)	434% (かなり多い)	81% (少ない)
東南部	+1.2℃ (高い)	404% (かなり多い)	93% (平年並)

参考データ

●平年並の範囲

	平均気温 (1 か月)	降水量 (1 か月)	日照時間 (1 か月)
東北地方	平年差: -0.1~+0.7℃	平年比: 78~112%	平年比: 97~106%
東北日本海側	平年差: -0.1~+0.7℃	平年比: 90~109%	平年比: 97~107%
東北太平洋側	平年差: -0.1~+0.7℃	平年比: 68~116%	平年比: 96~106%
秋田	10.6~11.4℃	141.3~165.8mm	96.8~111.3 時間
仙台	11.9~12.7℃	43.9~88.5mm	129.2~146.2 時間

	平均気温 (1 週目)	平均気温 (2 週目)	平均気温 (3-4 週目)
東北地方	平年差: -0.6~+0.6℃	平年差: -0.5~+0.7℃	平年差: -0.2~+0.8℃
東北日本海側	平年差: -0.6~+0.7℃	平年差: -0.5~+0.8℃	平年差: -0.2~+0.8℃
東北太平洋側	平年差: -0.6~+0.6℃	平年差: -0.5~+0.8℃	平年差: -0.2~+0.8℃
秋田	12.0~13.4℃	10.8~12.2℃	9.2~10.2℃
仙台	13.4~14.6℃	12.1~13.5℃	10.6~11.6℃

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981~2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

●晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
秋田	11.5 日	14.8 日	3.5 日	3.3 日	3.0 日	3.5 日	5.0 日	8.1 日
仙台	16.5 日	5.8 日	4.1 日	1.4 日	4.2 日	1.4 日	8.3 日	3.0 日

「晴れ日数」は「日照率 40%以上」の日数であり、「降水日数」は「降水量 1mm 以上」の日数です。この 2 つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

●確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率	（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解 説
高い（多い）確率が 50%以上		高い（多い）見込み
	(20:40:40)	平年並が高い（多い）見込み
平年並の確率が 50%以上		平年並の見込み
	(40:30:30) (30:40:30) (30:30:40)	ほぼ平年並の見込み
	(40:40:20)	平年並が低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が 50%以上		低い（少ない）見込み